



特集

地元高校での青春は、 みんなが主役!

「今」という時間とともに歩み輝く

窪川高校の生徒の皆さん



四万十高校の生徒の皆さん

密な青春の理由、聞いてきました!



特集

地元高校での青春は
みんなが主役!



「今」という時間をともに歩み、輝く

高校時代の3年間は、人生において特別な時間であり、ここでの学びや出会い、体験は自分自身を形成し、未来に大きな影響を与えます。

町内にある2つの高校。少子化という厳しい時代の中、平均志願倍率は0.3倍と定員を割り続けています。今回は、そんな地元高校に通う皆さんの、青春を少しのぞいてみましょう。



今、求められる特色ある学校づくり
「生徒数が少ない」「やりたい部活動がない」「環境を変えてみたい」...

町内の中学生が、地元高校に進学しない理由はさまざまです。時代とともに高校進学の見込みは多様化し、高校においても、特色ある学校づくりが求められています。

町も平成27年度より「四万十町高校応援大作戦」と題し、「町営塾じゆうく」の開設・運営や「高校魅力化コーディネーター」の配置など、生徒一人一人の夢や志が実現できる環境づくりに、学校・地域とともに取り組んでいます。

近年、進学面では国立大学や難関私立大学への合格、また就職面でも、希望就職先への採用など、自身の夢の実現に向け、主体性を持った生徒たちが、地元高校から未来へと羽ばたいています。

生徒も実感する「少人数」の魅力

町内にある2つの県立高校。窪川高校と四万十高校はともに、生徒数が100名に満たない小規模校です。だからこそ、「授業によっては先生とマンツーマンで、分かるまで教えてくれる」と生徒は話します。

むしろ、小規模校であることが魅力となっており、生徒一人一人が学校生活の中で主役として、友人や教員と深い関係を築きながら濃厚な時間を過ごしています。

取材に訪れたこの日、複数の生徒が期末テストの後に残ってくれていました。その時、担当の先生が、お腹を空かせた生徒を気遣いパンを差し入れました。すぐに「いただきます!」と生徒。先生と談笑しながらパンをかじる光景が、まさに「少人数」の魅力のように感じました。

地域との関わりから 生徒に芽生える郷土愛

「高校魅力化コーディネーター」や「地域学校協働活動推進員」を配置して、両校では地域に開かれた学校づくりを進めています。

生徒自ら課題を設定し、解決に向けて取り組む地域課題研究や地域探究学習。その分野に精通する地域の方と触れ合い、熱い思いを聞けることは、生徒たちにとって大きな刺激となっています。「地域にはまだまだ知らない場所や文化があっておもしろい」と話すように、生徒にとっては故郷四万十町を見つめ直すきっかけとなり、少しずつ地元を愛する気持ちが芽生えているようです。

将来、生徒たちが町にUターンしたり、町の外からでも地元を応援してくれる人材へと成長することを期待せずにはられません。

自分で決めた学校だから楽しい!

地元高校に進学しない理由がさまざまあるように、地元高校への進学を決意した理由も、またそれぞれにあります。

驚いたのは、自分の意思で高校を選択しているということ。一日体験入学などを通して、自身で授業や雰囲気を経験した上で、3年間の高校生活のイメージが持てた学校に入学しているのです。

学校生活が「楽しい!」と言い切れるのも、それなら納得できます。

窪川高等学校

生徒の「やりたい」を、学校と地域が応援し、実現できる場所。

今年度、文部科学省より県内の中山間校では唯一、「DXハイスクール」に指定された窪川高校。少人数だから、新しいことに挑戦しやすく、教員や3名の専属コーディネーターと地域住民が連携し、その挑戦を全力でサポートする環境が「最大の魅力」です。



DXコーディネーター
前田 喜久子さん

お問い合わせ先 / 窪川高校 ☎22-1215



歓迎イベントへと変化した体育祭



イベントで生徒同士の絆が深まる



修学旅行では町の特産品を大阪で販売



自分たちも楽しんだ新文化祭



県総体の応援に向かうバスの車内



かぼちゃにペイントする美術部



体育館での体育祭もいい思い出



「なぜ」という発想で取り組む総合的な探究活動



今年度、文部科学省より県内の中山間校では唯一、「DXハイスクール」に指定された窪川高校。少人数だから、新しいことに挑戦しやすく、教員や3名の専属コーディネーターと地域住民が連携し、その挑戦を全力でサポートする環境が「最大の魅力」です。

挑戦から得た確かな手応えと成長

「今までの常識を捨て、何かぶっ飛んだことをしたかった」と、令和6年11月23日に開催された「新文化祭」を生徒が振り返ります。単なる学校行事ではなく、町のイベントになるような「文化祭」にしようと、令和5年度にリニューアルされた窪川高校の新文化祭。
2年生が中心となり、企画から準備、運営の全てを行い、地域の協力を募りながら開催しています。以前は300名だった来場者は今年900名を超え、生徒の新たな挑戦は確実に実を結び、生徒自身やその周辺にも大きな変化をもたらしています。

この学校だから実現した傘アート！

中庭に飾られた300本のカラフルなビニール傘。生徒の自由な発想が、今年の新文化祭に彩りを添えていました。
「無謀な提案だと思ったけど、みんなが協力して形にしてくれた」と生徒は笑います。仲間とやりたいことに挑戦できる学校。これ以上の青春はないのかもしれない。

生徒の自主性と地域との関わりが来場者の胸を打つ

令和6年11月16日、創立70周年を記念する式典が挙行され、四万十高校若衆太鼓がオープニングを飾りました。地域の太鼓グループ「四万十川とどろき太鼓保存会」の協力を得て、約2か月間の稽古を積み、この日を迎えました。
節目となる式典で、地域の伝統文化である「太鼓」を、地域住民の協力を得て生徒が披露できたことは、地域資源を生かした教育環境づくりに取り組む今の四万十高校そのものように感じました。

「グッパ」も掛け声が違う！

グーとパーでチーム分けをする際に用いる「グッパ」。そんな掛け声さえも、「県外生は違うき、おもしろい」と地元生は笑っています。
会話の中にもいろいろな地域の方言が混ざる日常。多様な価値観や経験を持つ生徒同士の交流は、私たちの想像以上に、十代の生徒たちにとっては大きな刺激となっているようです。

「生徒の挑戦が、学校の雰囲気を変えている」

「町営塾じゆうく。」の塾長を務めたこともある前田喜久子さん。今は、窪川高校のDXコーディネーターとして、最先端の情報技術を生徒たちに楽しく伝えています。
「以前と比べると、学校の雰囲気が変わってきています」と前田さん。「これは、生徒の挑戦を先生や地域の方が応援してくれる環境にあるんです」。

この環境こそが、生徒たちの新たな発想、さらなる挑戦を生み、学校の雰囲気を変えているのです。

「生徒たちには、この3年間、もっともつとやりたいことに挑戦してもらいたいです。この学校は、それがやりやすい環境なんだから」と笑顔で話してくれました。

「自分で起業できる大人になってもらいたい」

9年前に地域おこし協力隊として着任し、今は四万十高校の地域学校協働活動推進員を務める小野雄介さん。学校と地域をつなぐ橋渡し役として、地域資源を生かした教育環境づくりに取り組んでいます。

「最近感じることは、地元学生の積極性です。県外生との学校生活や地域の方々との交流を通じて、良い刺激を受けているんでしょうね」と小野さん。「子どもたちには、将来、仕事がないから地元に残れないって、言ってほしくないんです」と言います。

小野さんのその思いがまた、子どもたちの刺激となり、主体性を高めていくのです。



地域学校協働活動推進員
小野 雄介さん

お問い合わせ先 / 四万十高校 ☎27-0034



四万十高等学校

県外生との学校生活が青春に発見と刺激を加える。

全国でも数少ない「自然環境コース」が設けられ、四万十川中流域の豊かな自然が学べる四万十高校。近年、「地域みらい留学」にも参画し、全国から入学者を募集。地元高校に居ながら、県外生との交流ができる環境は「最大の魅力」です。



マラソン大会に出場し、スポーツによる友好を深めた

韓国・高敞郡を代表団が表敬訪問

令和6年11月15日から18日にかけて、当町と友好交流協定を締結している韓国高敞（コチャン）郡を、副町長・議長をはじめとする代表団11名が表敬訪問しました。

今年度2回目となる訪問では、スポーツを通じて友好を深めようと「コインドルマラソン大会」に代表団が参加。5km・10km・ハーフの部に分かれて出場し、参加者らは、紅葉などの豊かな景色を楽しみながら、汗を流し友好を深めていました。

郡守（長官）との意見交換では、今後もマラソンなどを通じたスポーツ交流の実施についても協議されました。



地域の皆さんで協力して行ったバケツリレー

「しまんと防祭フェス」～防災大運動会～

「しまんと防祭フェス2024」が令和6年11月24日、四万十緑林公園で開催され、多くの来場者でにぎわいました。このイベントは、四万十町自主防災組織連絡協議会窪川支部が企画・運営したもので、目玉企画の「防災大運動会」では、総勢100名が参加したバケツリレーなど、子どもからお年寄りまでが、楽しみ協力する中で防災について学んでいました。

その他にも、炊き出しや防災缶詰のアレンジ料理の提供、起震車体験などもあり、来場者からは「めったにできない体験ができた」「来年もまた参加したい」などの声が聞かれました。

地域食堂で児童・住民ら100名の昼食交流会

「集落活動センター仁井田のりん家」の台所部会が、令和6年11月22日、仁井田町民会館で地域食堂として昼食交流会を開催しました。

仁井田小学校の児童や保護者、地域住民らに、地元の食材を使った料理を楽しみ、交流を深めてもらおうと初めて開催したもので、参加者は、温かい豚汁や秋じゃがコロッケなど12品目の料理が詰まった弁当を堪能。

「どれもおいしい」、「みんなで食べたら余計においしい」などと会話しながら、世代を超えた交流を楽しまれていました。



参加者100名と一緒に「いただきます！」

ライブラリーガーデンの植え替え

四万十町立図書館の入り口横にある花壇は、「窪川高校プレゼンツ ライブラリーガーデン」と名づけられ、窪川高校の生徒たちが季節の花を植えて管理しています。

夏には、ひまわりがきれいに花を咲かせていましたが、今回は、カラフルなビオラへと植え替え作業が行われました。花の配置も全て生徒たちが考えたもので、一株ごと丁寧に植え替え作業が行われています。生徒たちの思いがこもったライブラリーガーデンを、ぜひご覧になってください。季節の花が来館者をお持ちしています。



花の植え替えをしてくれた窪川高校の生徒たち



多くの出展作品の中から入選された受賞者の皆さん

「高南台地総合美術展覧会」開催

四万十町農村環境改善センターにて、令和6年11月8日から14日まで、「第61回高南台地総合美術展覧会」が開催されました。

今年は、出展者数80名、出展作品数120点と盛大な展覧会となり、開催期間中は784名の方にご来場いただきました。

受賞者は次のとおりです。（敬称略）

【第61回 高南台地総合美術展覧会 入選者一覧】

絵画の部	特選	特選	褒状	褒状	奨励賞	奨励賞	新人賞	書道の部	特選	特選	褒状	褒状	奨励賞	奨励賞	新人賞
戸田	青木	杉本	武吉	嶋岡	中平	谷脇		森野	堀内	吉岡	長山	藤戸	岡佳	中城	廣田
清次	健真	小真	孝夫	幸子	浩太	誠太郎		清水	仁峰	康泉	隆行	佳代	春草	康華	紅雲
写真の部	特選	特選	褒状	褒状	奨励賞	奨励賞	新人賞	工芸の部	特選	特選	褒状	褒状	奨励賞	奨励賞	新人賞
沖田	田村	河野	武田	南部	佐竹	森田	山野	生田	宮地	林居	土村	吉村	青木	片岡	
英輔	昭一	年惠	悦子	多鶴	菊強	美二		浩子	由美	正臣	庸聡	健子	真真	圭	



グラウンドいっぱいに来場者が集まった餅まき

「西部地区産業祭」開催

大正地区と十和地区合同の「第16回西部地区産業祭」が、令和6年11月24日、大正中学校で開催されました。当日は天候にも恵まれ、町内外からの飲食ブースの出店や林業機械の実演・体験会などもあり、多くの来場者でにぎわいました。「農林水産物等品評会」には、50点の出品があり、最優秀賞には、井上正行さん（上宮）のスプレー菊、中平武憲さん（古城）の自然薯が、審査員から最も高い評価を得て選出されました。また、68点の出品があった恒例の「ジャンボカボチャコンテスト」では、71.85kgのカボチャを出品した中平武憲さん（古城）が1位となりました。



伊勢エビが豪快に入ったお汁はこの祭りの定番！

「志和ふるさとまつり」大盛況

今年も「志和ふるさとまつり」が、令和6年12月1日、志和漁港周辺で開催され、多くの来場者でにぎわいました。

この祭りは、志和地区の新鮮な魚介類や農産物を味わってもらおうと毎年開催しているもので、今年も、例年にも増して早朝から多くの来場者が訪れ、各出店コーナーには行列ができていました。

毎年大人気の伊勢エビ汁やすり身入り天ぷらなどは早々に完売。浜辺では、バーベキューを楽しむ家族連れなどでにぎわい、来場者は思い思いに祭りを満喫していました。

20歳になったら 国民年金

国民年金は、高齢になったとき、病気や事故で障がいが残ったとき、家族の働き手が亡くなったときに、働いている世代みんなで支えようという考えで作られた仕組みです。



国民年金のポイント

☑ 将来の大きな支えになります！

国民年金は20歳から60歳までの方が加入し、保険料を納める制度です。国が責任を持って運営するため、安定していますし、年金の給付は生涯にわたって保障されます。

☑ 老後のためだけのものではありません。

国民年金は、高齢になったときの老齢年金のほか、障害年金や遺族年金もあります。障害年金は、病気や事故で障がいが残ったときに受け取れます。また、遺族年金は加入者が死亡した場合、その加入者により生計を維持されていた遺族(「子のある配偶者」や「子」)が受け取れます。

国民年金保険料のお支払い

☑ 国民年金の保険料

国民年金第1号被保険者および任意加入被保険者の1か月当たりの保険料は16,980円です(令和6年度)。これらの保険料に加えて、毎月400円の保険料を納めることによって、将来の年金額を多く受け取る制度(付加年金)があります。

☑ 「前納割引制度」があります！

保険料をまとめて前払い(前納)すると、割引が適用されるのでお得です。

☑ 口座振替・クレジットカードでのお支払い

口座振替を利用すると、金融機関などに行く手間と時間が省け、納め忘れも防ぐことができます。さらに、「早割(当月末納付)」や「前納」で納めると、保険料が割引されます。

「学生納付特例制度」と「納付猶予制度」

☑ 「学生納付特例制度」

学生の方は一般的に所得が少ないため、ご本人の所得が一定額以下の場合、世帯主の所得にかかわらず国民年金保険料の納付が猶予される制度です。

対象となる学生は、学校教育法に規定する大学、大学院、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校および各種学校(修業年限1年以上である課程)、一部の海外大学の日本分校に在学する方です。

☑ 「納付猶予制度」

学生でない50歳未満の方で、ご本人および配偶者の所得が一定額以下の場合に国民年金保険料の納付が猶予される制度です。

国民年金保険料学生納付特例の更新について

学生納付特例制度にて、令和6年度に保険料納付を猶予されている方で、令和7年度も引き続き在学予定の方へ、4月頃に基礎年金番号が印字されたハガキ形式の学生納付特例申請書が送付されます。

同一の学校に在学されている方は、このハガキに必要事項を記入して返送いただくことにより、令和7年度の申請ができます。(この場合、在学証明書または学生証の写しは不要です。)

【お問い合わせ先】

高知西年金事務所 ☎088-875-1717 町民課 ☎22-3117
大正町民生活課 ☎27-0112 十和町民生活課 ☎28-5112



県内では6年ぶりに「優良団体表彰」を受賞

四万十町スポーツ推進委員が受賞

「第65回全国スポーツ推進委員研究大会宮崎大会」が令和6年11月14日、宮崎市で開催され、四万十町スポーツ推進委員が優良団体表彰を受賞しました。

スポーツ推進委員は、地域スポーツの振興と地域住民の心身の健全な発達を図ることを目的に活動しており、四万十川桜マラソン大会をはじめとした各地域でのスポーツ大会やスポーツ教室などの活動成果が称えられました。なお、団体表彰の受賞は高知県内では6年ぶりの快挙となりました。



必死でシャトルを追う選手たち

「四万十町バドミントン大会」開催

「令和6年度四万十町バドミントン大会」が、令和6年11月3日、四万十町窪川B&G海洋センターで開催されました。

1部から4部に分かれて行われた大会では、選手たちがお互いにシャトルを打ち合い、白熱した試合を繰り広げていました。

【大会結果(町内ペアのみ)】

1部	3位	川村(隼)・川村(裕) [窪川蒲公英]
3部	6位	清水・長山 [STBC]
4部	3位	西村・碓井 [チームしまんと]
	4位	松本・原 [チームしまんと]
	6位	岩崎・浜崎 [チームしまんと]



男子の部で入賞した今井・津野ペア(左)と甲把・福留ペア(右)

「四万十町ソフトテニス大会」開催

男女別で競技を行う「第19回四万十町ソフトテニス大会」が令和6年11月17日、四万十町窪川運動場で開催されました。

どの試合も選手同士が一步も譲らない試合展開で、晴天のなか白熱したラリーが繰り広げられました。

男子の部では、準優勝に窪川中学校の今井・津野ペアが、また第3位には、甲把・福留ペアがそれぞれ入賞を果たしました。また女子の部では、第3位に窪川中学校の武田・岩崎ペアが入賞しました。



選手の力泳を間近で応援し、盛り上がった水泳大会

「B&G財団会長杯水泳大会」開催

今年も県内外から14チーム、総勢343名の選手が参加し、「第33回B&G財団会長杯四万十町水泳競技大会」が、令和6年11月24日に開催されました。

初心者から高知県記録保持者まで、多くの選手が参加した今大会では、自分の目標に向かってそれぞれの選手が力泳。プールサイド間近で応援できる県内唯一の大会ということもあり、応援する皆さんも存分に楽しんでいました。窪川B&G海洋センターからは43名の選手が参加し、団体総合5位という成績を収めました。

まちの家計簿を公表します

令和5年度 決算報告

●令和5年度の主要事業

○強い農業づくり総合支援事業 …… 324,891,000円

高知県農業協同組合が進める再編統合計画の一つとして、県西部におけるニラ集出荷場の集約化を図るため、四万十町に計量・結束・包装作業を行う新たな集出荷場が整備されました。

○十和観光施設整備事業(三島キャンプ場)… 162,815,520円

整備から約35年が経過していた三島キャンプ場のリニューアル整備工事を行いました。老朽化した施設を新たに整備したことで、施設の安全基準を満たすことができ、利用者が快適に過ごすことができる環境を整えました。



「強い農業づくり総合支援事業」で整備された野菜集出荷場

○低所得世帯生活支援事業 …… 430,409,395円

エネルギー・食料品などの物価高騰による負担増を踏まえ、家計への影響が特に大きい低所得世帯・低所得子育て世帯に対し特別給付金を支給しました。

○小中学校トイレ改修事業 …… 209,052,592円

健やかに学習・生活ができる環境整備の一つとして、学校トイレの洋式化・乾式化を実施しました。



「十和観光施設整備事業」でリニューアルした三島キャンプ場

○ふるさと支援推進事業(ふるさと納税)

○移住・定住促進事業(住宅整備や補助金など)

○子育て支援事業(出産祝金など)

○高齢者対策(在宅福祉事業、配食サービスなど)

●特別会計

会計区分	歳入	歳出	差引収支	基金残高	町債残高
国民健康保険事業	21億6,025万円	21億4,282万円	1,743万円	1億4,848万円	0万円
国保大正診療所	4億409万円	4億408万円	1万円	0万円	3億2,503万円
国保十和診療所	1億306万円	1億306万円	0万円	0万円	2,214万円
大道へき地診療所	831万円	831万円	0万円	—	0万円
後期高齢者医療事業	3億3,699万円	3億3,612万円	87万円	—	0万円
介護保険事業	26億6,395万円	25億5,761万円	1億634万円	3億4,494万円	0万円
特別養護老人ホーム窪川荘	3億5,044万円	3億5,044万円	0万円	0万円	0万円
特別養護老人ホーム四万十荘	2億6,485万円	2億6,485万円	0万円	0万円	390万円
農業集落排水事業	3,465万円	3,007万円	458万円	—	6,637万円
下水道事業	5,933万円	5,605万円	328万円	—	1億5,584万円

●企業会計

水道事業会計	歳入	歳出	差引収支	町債残高
収益的収支(消費税抜き)	5億3,320万円	5億2,227万円	1,093万円	29億3,933万円
資本的収支(消費税込み)	1億6,007万円	4億1,008万円	▲2億5,001万円	

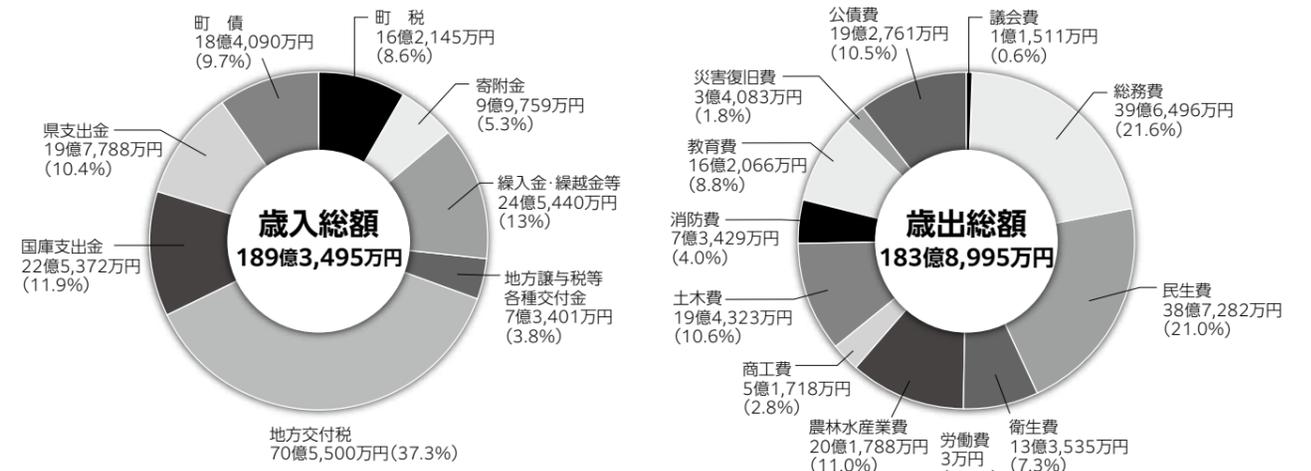
●町の財産

◇土地 ……2,417万992㎡ (うち山林 1,412万8,352㎡)	◇有価証券 ……105万円
◇建物 ……19万7,532㎡	◇出資権利 ……5億2,781万円
◇推定立木 ……70万6,669㎡	◇債権 ……1億5,576万円
◇地上権 ……3,394㎡	◇物品(自動車等) ……234台
	◇物品(美術品等) ……763点

詳細については、町ホームページ「四万十町の財政状況」コーナーで公表しています。



●一般会計

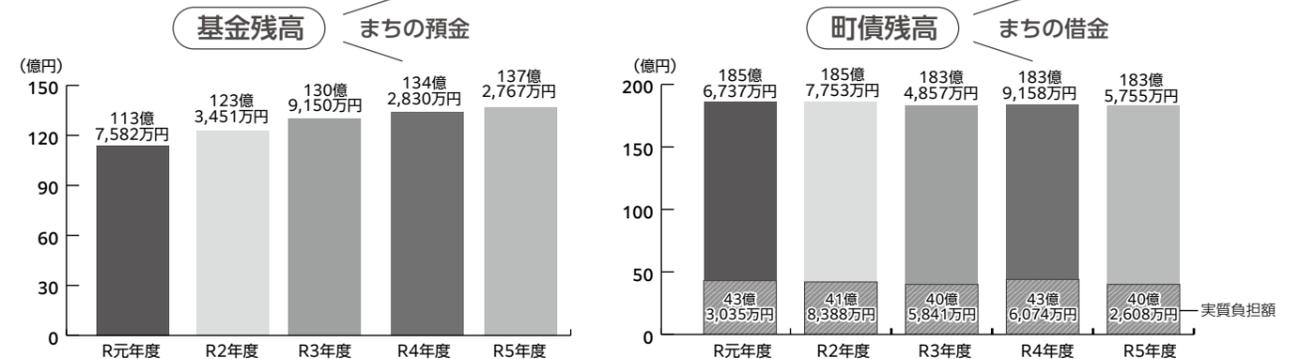


●一般会計における町民一人あたりに使われるお金(年間)

令和6年3月31日現在の人口 15,202人



●一般会計における基金残高と町債残高



令和5年度 決算まとめ

歳入	189億3,495万円
歳出	183億8,995万円
翌年度繰越	1億4,140万円
実質収支	4億360万円

【歳入】

都道府県支出金で1億2,061万円の増となった一方、繰入金で5億7,807万円の減となったほか、ふるさと支援寄附金の減により寄附金全体で1億8,397万円の減となっています。

【歳出】

低所得世帯生活支援事業や、競争力強化生産総合対策事業、三島キャンプ場リニューアル整備事業などを実施する一方、令和4年度実施のマイナンバーカード取得促進商品券事業などの完了に伴う減や、災害復旧事業費が減となっています。

家計でいう「預金」にあたる基金では、前年度と比べ2億9,937万円増の137億2,767万円となり、「借金」にあたる町債残高では、3,403万円減の183億5,755万円となりました。町債残高のうち、地方交付税で交付されるものなどを除き、町が税金などで支払う実質の負担額は、40億2,608万円となっています。(上記グラフの網掛け部分)

お問い合わせ先 総務課 ☎22-3111

四万十町議会 定例会 町長行政報告

人口減少対策

知事が年度当初の講話において「高知県の最大の政策課題は人口減少問題への対応である」と述べられたとおり、人口減少対策は本町にとっても避けては通れない最大の政策課題となっています。平成18年の合併時には約2万1千人いた人口も、本年10月末には1万5千人を下回っており、合併から18年あまりで約3割の人口減少となりました。また、若い世代ほど減少率は高くなっており、特に出生数に至っては6割以上の大幅な減少となっています。本町では、平成26年の「まち・ひと・しごと創生法」の施行以降、地方創生に積極的に取り組んできたところですが、移住施策においては一定成果があったものの、課題の解決には至っていないのが現状です。

こうした中、県は本年3月に「高知県元気な未来創造戦略」と「高知県中山間地域再興ビジョン」を策定し、これらの計画を推進するための財政措置として「高知県人口減少対策総合交付金」を創設したところであります。本町としても、県や県下の市町村と足並みをそろえ、「34歳以下人口の維持・増加」そして「出生数の維持・増加」に向け取り組むこととしていきます。なお、新設された県の交付金については、本年度より既に活用している「基本配分型」に加え、令和7年度当初予算より順次「連携加算型」も活用することとしており、現在県の所管部署と事業計画案の調整を行っているところです。

一方で、人口減少は依然として続くことが想定されており、官民間問わず、人材や財源の確保など、さまざまな面において益々厳しくなることが予想されます。

今後は人口減少が続いた後の未来も見据え、「攻めの人口減少対策」と「守りの人口減少対策」の両面からまちづくりを進め、この町で暮らす町民の皆さまの生活を守っていききたいと考えています。

郡守、議長以下10名の訪問団が来町するなど、交流事業の再開に向けて活発に意見交換を行い、連携を深めています。

令和6年5月に教育長以下6名の訪問団が再度高知郡を訪問し、具体的な交流事業内容を協議した結果、令和6年度から7年度にかけて高校生を対象とした教育交流を行うとともに、高知郡と四万十町でそれぞれ行われているマラソン大会に選手を派遣しあうスポーツ交流を行うこととなりました。

スポーツ交流については、令和6年11月に高知郡で開催されたコインドルマラソン大会にランナー5名を派遣し、高知郡体育協会などの民間団体とも交流を深めました。令和7年3月の桜マラソン大会には高知郡からランナーが参加する予定となっており、本町のスポーツ団体なども含め、民間にも交流の輪を広げたいと考えています。

また、教育交流においては、高知郡ヨソソク高校と窪川高校の生徒による交流を開始しました。本年度はオンラインによる交流を3回実施することとしており、来年度はヨソソク高校生が来町するよう、両校での協議が進められています。

この教育交流により、両校の生徒



令和6年11月 代表団が高知郡消防署を視察

が互いの文化に対する理解を深めるとともに、コミュニケーション力を身に付けることによってグローバルな視野を養うことを期待しています。韓国高知郡との交流事業については、今後も、協定に基づき、教育、文化、スポーツなどの分野において相互交流と協力を促進し、お互いの繁栄と発展を図るよう取り組んでいきます。

町民の皆さまには、一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

移住・定住の推進

本町の移住・定住は平成23年度から推進しており、昨年度末までで、013組1,440人の方が町外から本町に移住しています。今年度については、令和6年10月末現在で123人、うち県外から53人が移住しており、昨年度より多いペースで推移しています。

先日、株式会社ブランド総合研究所から発表されました「地域ブランド調査2024」の市区町村魅力度ランキングにおいて当町は全国56位、四国内では1位の評価を受けており、こうした結果が四万十町ブランドの



窪川中津川に整備された中間管理住宅

醸成、ひいては移住の促進につながっていることと感じています。今後の展開としては、特に情報発信が重要と考えており、令和6年8月からは移住のホームページを改定し、グルメなど地域情報を含めて地域の魅力とともに発信する形としています。

また、中間管理住宅については現在までに48棟を整備し、ほぼ入居しているという状況です。今後も年間10棟を目標に整備を続けていきたいと考えています。

本町の人口減少対策については、先に報告したとおりですが、その中でも移住・定住対策は主要な柱と考えており、今後とも施策のより一層の充実を図り推進に努めていきます。

韓国高知郡との交流事業

平成24年4月に協定を締結した韓国高知郡との友好交流は、新型コロナウイルス感染症の影響などもあり、令和元年から一時中断されておりましたが、令和5年10月に高知郡最大のイベントであるモヤソン祭りに招待されたのを皮切りに、令和6年3月の桜マラソン大会に高知郡

「広域がん検診」を実施します！

今年度、がん検診を受診していない方を対象に「広域がん検診」を実施します。「広域がん検診」は、住所地以外の会場でも受診できます。

◆実施日・会場・検診の種類

内容	実施日	肺	胃	大腸	乳	子宮頸	所在地	会場
広域がん検診	2月11日(火・祝)	○	○	○	○	○	高知市	総合保健協会中央健診センター
	2月16日(日)	○	○	○	○	○	南国市	保健福祉センター
	2月23日(日)	○	○	○	○	○	高知市	総合保健協会中央健診センター
	2月24日(月・祝)	○	○	○	○	○	南国市	保健福祉センター
	3月1日(土)	○	○	○	○	○	宿毛市	総合保健協会幡多健診センター

◆対象者

今年度(令和6年4月1日～)町のがん検診を受診していない方で、令和7年4月1日までに以下の年齢になる方。

- 肺がん検診・胃がん検診・大腸がん検診/40歳以上の男女
- 乳がん検診/40歳以上の女性で昨年度未受診の方(令和5年4月1日から令和6年3月31日までに乳がん検診を受けてない方)
- 子宮頸がん検診/20歳以上の女性

- ◆検診料 肺がん検診/100円
胃がん検診・大腸がん検診/各500円
子宮頸がん検診・乳がん検診/各400円

次の方は、各種がん検診料が無料です。

- ①令和6年度内に70歳以上となる方(ただし、肺がん検診は65歳以上となる方)
- ②生活保護世帯の方(申し込み時にお伝えください)

◆申込方法

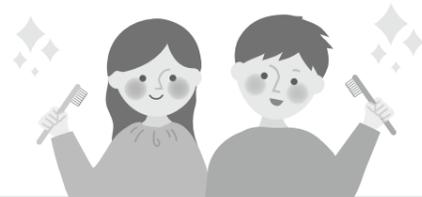
高知県総合保健協会へ電話でお申し込みください。
※各会場定員になり次第、申し込みを締め切ります。
電話番号/088-831-4351
受付開始/1月8日(水)～
受付時間/平日8:30～17:00まで

歯みがきで感染症予防!

冬は空気が乾燥し、気温が低くなるのでインフルエンザや新型コロナウイルス、マイコプラズマ肺炎などさまざまな感染症が流行します。口の中が不衛生になると、全身の免疫力低下につながり、細菌やウイルスに感染しやすくなります。感染予防のためには口の中を清潔に保ちましょう!

歯みがきのコツ

- 歯ブラシは鉛筆を持つように握り、毛先が広がらないくらいを目安に小刻みに動かし、やさしくみがく。
- 歯と歯の間はデンタルフロス(糸ようじ)を使う。
- 食べたらみがく習慣を。特に寝る前は丁寧にみがく。



その他にも、手洗い・マスクの着用・人ごみを避ける、など基本的な感染対策に加えて、歯みがきで感染症を予防しましょう!

【お問い合わせ先】健康福祉課 ☎22-3115

冷湿布と温湿布の使い分け

腰痛や腕、ひざの痛み、ねんざなどに効果的な湿布ですが、温かい湿布と冷たい湿布があり、どちらを使用するのが良いか迷われた経験はないでしょうか?実はどちらも感じ方が異なるだけで、含まれている鎮痛効果のある成分は同じものを使用している場合が多くなっています。

冷湿布は、冷たさで痛みが和らぐ感覚があり、筋肉痛やねんざなどの炎症があったり熱をもっている場合に効果が感じられやすく、温湿布は、温かみで痛みがほぐれる感覚があり、腰痛や肩こりなど慢性的な痛みにも効果が感じられやすくなっています。どちらが適しているのか迷った際は、お気軽に近くの薬局へご相談ください。

また、湿布はつい長時間貼ってしまいがちですが、かぶれなどの原因にもなるため、肌を休める時間も作りながらの使用を心がけましょう。



無料健康相談日

1月19日(日)、2月2日(日)です。
どうぞ、気軽にご相談ください。

【お問い合わせ先】
調剤薬局技術センター 藤田 玲奈
☎22-1000

子育て通信

内容	日時	場所	お問い合わせ
4か月児・7か月児健診	1月15日(水)	対象者に個別通知	窪川地域子育て支援センター 健康福祉課 ☎22-3115
	2月12日(水)		
3歳6か月児健診	1月22日(水)	四万十町役場本庁東庁舎	
赤ちゃん相談	1月21日(火)	9:30~11:30	大正地域子育て支援センター 大正町民生活課 ☎27-0112
	2月5日(水)	13:30~16:00	窪川地域子育て支援センター 健康福祉課 ☎22-3115



認知症になりやすい人の特徴 1

1/5



認知症になりやすい人には、どのような特徴があるのでしょうか。

① ささいなことを気にする、② 怒りっぽい、③ 全て一人でこなそうとする
このような性格の方は、認知症になりやすい傾向にあります。

① ささいなことを気にする

まず、ささいなことを気にする人は、日々の生活のなかでストレスや不安を感じる場面が多いと考えられます。ストレスを感じると、体内ではストレスホルモンとよばれる「コルチゾール」が分泌されます。コルチゾールは、一時的なストレスを緩和する効果を持つものの、過剰に分泌されると血の巡りが悪くなり、体内に栄養や酸素を行き渡らせることが難しくなります。脳の神経細胞に栄養や酸素が届かなくなると、感情や記憶をコントロールする「海馬」という部位が委縮し、認知症を発症してしまうというわけです。

また、ストレスが溜まると、他者と関わることがストレスになるかもしれません。ですが、一人で過ごす時間が増えれば、その分「人と話をする」「新しく発見する」といった機会が減るため、脳の老化が加速し認知症を引き起こすとされています。

② 怒りっぽい

怒りっぽい性格の人は、周囲と円滑にコミュニケーションをとることが困難になりがちです。誰でも「すぐに怒鳴る人」や「攻撃的な言葉を口に人」は、できるだけ距離を置きたいと思うかもしれません。このようなきっかけから、一人で過ごす時間が増えると認知症のリスクがグッと高まるようです。

アメリカのボストン大学での研究によると「持続的に孤独を感じる人は、そうでない人と比べて認知症を発症するリスクが 1.9 倍も高い」という結果が出ています。怒りの感情ときちんと向き合えなければ、認知症を発症するリスクが高まるでしょう。

③ 全て一人でこなそうとする

全てご自身でこなそうとする人も、認知症になりやすい性格といえます。「周囲を頼りたくない」「迷惑をかけたくない」という思いにとらわれていると考えられるからです。かたくなに、周囲に相談したり助けを求めたりしないことが、人とコミュニケーションをとる機会を失わせる結果につながります。

脳の活性化には他者との関わりが不可欠です。そのため、全て一人でこなそうとするあまり、他者と協力する機会やつながりそのものがなくなると、認知症になる可能性が高まるのです。

四万十町国保大正診療所 徳橋理紗・岩本啓寛・大川剛史

ごみの不法投棄について

山林や川、道路脇の待避所や交通量の少ない道路脇などへのごみの不法投棄が後を絶ちません。空き缶やペットボトル、弁当ごみなどのポイ捨て、農業用ビニールや畷トタンが川に流れていたり、粗大ごみをわざわざ運んできて放置するなどの行為は、全て不法投棄となります。不法投棄は「廃棄物の処理および清掃に関する法律」違反となり、**違反者には、5年以下の懲役もしくは、1,000万円(法人は3億円)以下の罰金、場合によっては、両方が科せられます。**

町では巡回パトロールなどで防止に努めていますが、不法投棄を「しない」「させない」をモットーに町民全員で不法投棄の防止に取り組みましょう。



不法投棄を発見したら!!

①発見日時②発見場所③不法投棄者の特徴④車種・車両ナンバー⑤投棄物の内容などを分かる範囲で確認し、警察に通報してください。
※危険ですので、不法投棄者に対して一人で近づき注意をしないでください。

私有地への不法投棄について

私有地への不法投棄に関して、不法投棄した者が判明しない場合は、個人財産(土地)に対して自治体が発令(税金)を投じることはできず、土地所有者(管理者)がその撤去費用などを負担しなければなりません。

不法投棄防止の看板設置について

不法投棄がひどい場所には、看板の設置を行い、啓発に努めています。看板は、要望があった区長にもお渡ししています。

無許可の不用品回収業者に注意!

不用品の回収業者の中には、無許可の業者がいる場合もあります。巡回中の軽トラックやチャリ、インターネットの広告を見て安易に処理を依頼すると、思わぬトラブルや不法投棄、不適正処理の原因になりますので、ご注意ください。



事例①

「不用になった家電品を無料で処分する」と拡声器で呼びかける軽トラックが通ったので処分を頼んだら、無料のはずが高額な処分費用を請求された。

※家電リサイクル法対象製品(テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・衣類乾燥機、エアコン)は、指定の業者・家電小売店にリサイクル料を支払って処分してください。

事例②

「不用品を何でも買い取る」という電話があり、不用品の買い取りをお願いしたら、訪れた際に衣類以外のアクセサリーなど貴金属を出すように求められた。

【お問い合わせ先】

環境水道課 ☎22-3119
大正町民生活課 ☎27-0112
十和町民生活課 ☎28-5112
窪川警察署 ☎22-0110
(不法投棄を警察に通報する場合)

○休日在宅当番医

月日	医院名	電話番号
12(日)		
1月13(月)		
19(日)	くぼかわ病院	☎22-1111
26(日)		
2月2(日)		
9(日)		
11(火)		

① 休日水道修理事業は窪川地域のみです。
大正・十和地域の方は各地域振興局にお問い合わせください。
大正 地域振興課 ☎27-0111 十和 地域振興課 ☎28-5111

○休日水道修理事業

月日	業者名	電話番号
12(日)	宮脇水道	☎22-1581
13(月)	高橋設備	☎22-0662
18(土)	桑原水道	☎22-1163
19(日)	横山水道設備	☎22-3608
25(土)	岩本商店	☎22-2716
26(日)	日化住宅機器	☎22-0407
1(土)	宮脇水道	☎22-1581
2(日)	高橋設備	☎22-0662
8(土)	桑原水道	☎22-1163
9(日)	横山水道設備	☎22-3608
11(火)	岩本商店	☎22-2716

○無料相談 (秘密厳守です。)

月日	時間	地域	場所	電話番号
2月5(水)	10:00~15:00	窪川	農村環境改善センター 2階 第1会議室	町民課 ☎22-3117
6(木)	10:00~15:00	十和	コミュニティセンターとおわ	十和町民生活課 ☎28-5112

1日行政相談 【窪川】行政相談員 森 英真【大正・十和】行政相談員 山本 安弘

1月14(火)	10:00~15:00	窪川	農村環境改善センター 2階 第1会議室	総務課 ☎22-3111
2月6(木)	10:00~12:00	大正	大正地域振興局 2階 小会議室	大正地域振興課 ☎27-0111
	13:00~15:00	十和	十和地域振興局 2階 第2会議室	十和地域振興課 ☎28-5111

令和6年度 入札結果 (令和6年11月実施分)について

入札結果は、町ホームページにて確認することができます。また、右のQRコードからも読み込むことも可能です。



第4期四万十町健康増進計画(案)に関する意見公募

募集

第4期四万十町健康増進計画(案)へのご意見を募集します。

◆公募期間 令和6年12月25日~1月17日(金) ※必着

◆閲覧方法 (1)閲覧所での閲覧

①役場本庁西庁舎1階閲覧所 ②大正地域振興局1階閲覧所
③十和地域振興局1階閲覧所 ④興津出張所閲覧所 ⑤四万十町立図書館

(2)町ホームページでの閲覧

◆提出方法 (1)意見箱による投函 (2)郵送 (3)FAX (4)電子メール

(5)直接持参(健康福祉課、両地域振興局 町民生活課)

お問い合わせ先 健康福祉課 ☎22-3115



申告書の書き方が分からない方は
申告相談会をご利用ください。



令和7年 税の申告相談会日程

大正地域、十和地域、窪川地域の順に行います

月 日	対象住所名(地区名)		会 場
	午 前(9:00~12:00)	午 後(1:00~4:00)	
2月10日(月)	江師・小石・芳川・西ノ川・ 木屋ヶ内・下道	大正大奈路・大正中津川・下津井	きらら大正
12日(水)	打井川・上宮・弘瀬	大正北ノ川・市ノ又・烏手・相去・大正 (轟崎・つづら川)・瀬里・希ノ川・上 岡・下岡	
13日(木)	大正(大正橋から南町)	申告未済者(大正地域)	
17日(月)	十和川口・地吉	大道・戸川・小野・久保川	十和体育館
18日(火)	昭和	河内・大井川	
19日(水)	十川・古城	広瀬・井崎	
20日(木)	里川・浦越・茅吹手・津賀・野々川	申告未済者(十和地域)	
	志和		
21日(金)	興津		志和コミュニティセンター
26日(水)	檜生原・折合・南川口	寺野・秋丸・家地川・野地	四万十町 農村環境 改善センター 多目的ホール
27日(木)	日野地・上秋丸・窪川中津川・壺斗俵・ 市生原	米奥・東北ノ川・作屋	
28日(金)	中村・勝賀野・川ノ内・七里 (志和分・西ノ川・柳瀬)	七里(小野川・本在家・越行・影山・三滝・ 沖代)	
3月4日(火)	向川・数神・奈路	弘見・飯ノ川・志和峰	
5日(水)	八千数・藤ノ川・親ヶ内・本堂	黒石・与津地・平野・道徳・土居	
6日(木)	床鍋・影野・魚ノ川	奥呉地・下呉地・替坂本・六反地	
7日(金)	仁井田(神有、本田、辻の川、浜ノ川を 含む)・小向・平串・富岡・中ノ越	根元原・東大奈路・西川角	
10日(月)	口神ノ川・中神ノ川・奥神ノ川・仕 出原	大井野・宮内・根々崎・東川角	
11日(火)	高野・若井川・峰ノ上・見付	金上野	
12日(水)	神ノ西・窪川・西原・若井・ 天ノ川・大向	茂申町・本町・新開町	
13日(木)	古市町・神山町・東町	香月が丘	
14日(金)	北琴平町・琴平町	申告未済者(全地域)	
16日(日)	申告未済者(全地域)		
17日(月)	申告未済者(全地域)		

お問い合わせ先 税務課 ☎22-3116

税の申告相談会が始まります 2月10日(月)~3月17日(月)まで



今年も町県民税・国民健康保険税の申告時期が近づいてきました。
申告した内容は、町県民税や国民健康保険税の課税資料となるほか、各種行政サービスの資料となります。事前に収支などの資料を整理して、スムーズな申告にご協力をお願いします。
※申告期間前および申告期間中は、本庁税務課・各地域振興局での申告書の作成はできませんのでご了承ください。
※申告会場では、感染症防止策としてマスクの着用をお願いします。

Q1 申告が必要な収入は？

令和6年1月1日~令和6年12月31日までに生じたすべての収入を申告する必要があります。

Q2 申告に持っていくものは？

マイナンバー(個人番号)確認書類

- ・マイナンバーカード
- ・通知カード
- ・住民票の写しまたは住民票記載事項証明書
(マイナンバーの記載があるもの)

いずれか1つ

令和6年中の収入・経費・控除の分かるもの

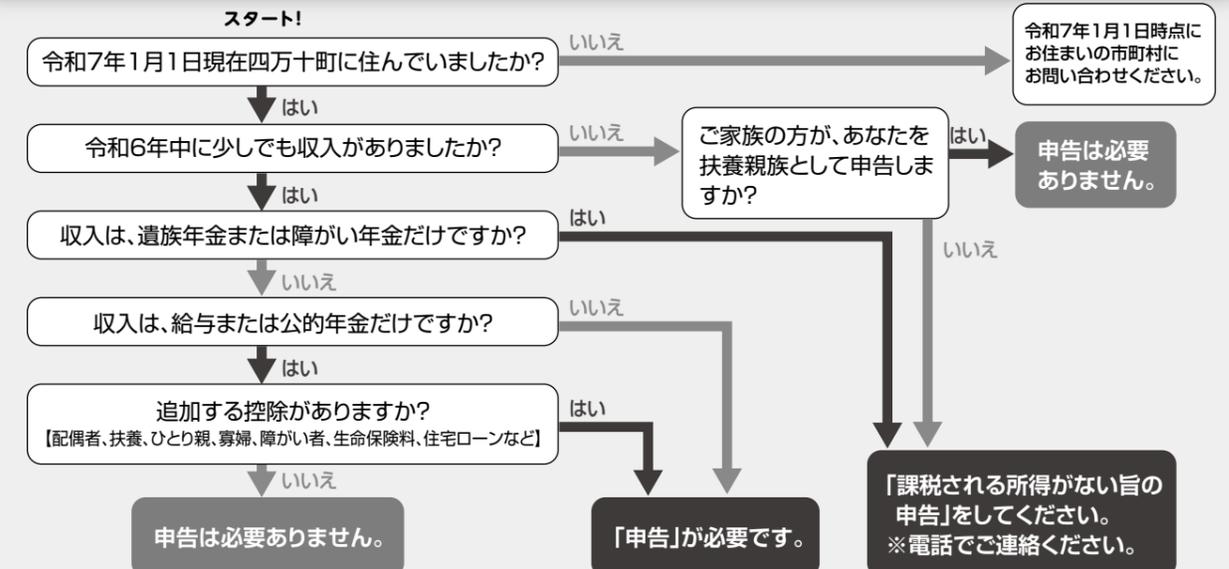
- 昨年の収入・経費の明細・領収書など
- 源泉徴収票
- 本人口座情報が分かるもの(通帳やカードなど)
- 営業・農業などの収支内訳書または帳簿
- 税務署からのお知らせハガキなど
- 各種控除を証明する書類
(生命保険、国民年金保険料、医療費控除の明細書など)

本人確認書類

- (マイナンバーカードをお持ちの方は必要ありません。)
- ・運転免許証・パスポート・身体障がい者手帳
 - ・健康保険証・年金手帳など

かんたん 申告チェック

下の質問に順番にお答えいただくと、あなたが町県民税の申告が必要か判断できます。
なお、税務署に所得税の「確定申告書」を提出された方は、町への申告は必要ありません。



この申告チェックは、あくまで簡易なものですので、このパターンに当てはまらない方もいます。また、国保加入者の世帯に未申告の方がいると、正しい軽減判定を受けられない場合があります。申告が必要かどうか不明な場合は、税務課までお問い合わせください。

防災連載企画 No.10

能登半島地震からの警告! ママとパパ必見!安心して赤ちゃんとお避難するために!

能登半島地震では、避難所の生活環境が悪く、その影響を乳幼児や子どもたちが受けるケースもありました。避難所での乳幼児対策は、全国的にもまだまだ不十分で、**粉ミルク**や**液体ミルク**は約7割の自治体で備蓄されているものの、乳幼児用の**おしりふき**や**離乳食**の備蓄は**1~2割程度**にとどまっています。今回は、町の避難所の子ども対策と家庭での備蓄例についてご紹介します。

避難所での問題・不安

- ① 赤ちゃんの泣き声でケンカ・トラブルに。
- ② 授乳中にのぞかれる。
- ③ 避難所内に舞い上がるホコリ・ウイルス。
- ④ 避難所内では赤ちゃんが不安で寝つけない。



乳幼児用の備蓄問題

- ① 食べ物が無い
- ② ベットが無い
- ③ おしりふきなど衛生用品が無い
- ④ オムツが無い



避難所での対策

- ① 乳幼児連れ専用スペースの確保
⇒ 赤ちゃんの泣き声やのぞきなどのトラブル・被害の防止!
- ② 避難所の衛生管理の徹底
⇒ 清掃用具や感染症対策物品を備蓄!
- ③ 乳幼児に対する物資の備蓄
⇒ 液体・粉ミルクやオムツなどを備蓄!

個人の備蓄対策

非常用持ち出し袋には**子どもや乳幼児のものも準備**しましょう!

- | | |
|----------------------------------------|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 母子健康手帳、健康保険証 | <input type="checkbox"/> 抱っこ紐 |
| <input type="checkbox"/> オムツ・お尻ふき | <input type="checkbox"/> 非常食、離乳食 |
| <input type="checkbox"/> 授乳用ケープ、ミルクセット | <input type="checkbox"/> ビタミン剤 |
| <input type="checkbox"/> スプーン、紙コップ | <input type="checkbox"/> 着替え、靴、防寒具 |
| <input type="checkbox"/> キッチン用ラップ | <input type="checkbox"/> マスク |
| <input type="checkbox"/> ガーゼ | <input type="checkbox"/> おもちゃ … など |

【お問い合わせ先】 危機管理課 ☎22-3280

次回 「元気の源、避難所での食事問題!」

食品ロス削減の啓発ポスター・ステッカーの配布

お知らせ

本町では、SDGs推進の取り組みの1つとして、産官学連携による「食品ロス」の削減を進めています。

その一環で、株式会社アッシェ(高知市)とSDGs推進に係る連携協定を交わし、保育所や小学校で出前授業を実施するなど啓発活動に努めています。今回、食品を扱う町内の事業者(特に小売・飲食業)の皆さまにも啓発活動にご協力いただきたく、オリジナルの啓発ポスターとステッカーを作成しました。店舗などに掲示していただける場合は、企画課までご連絡ください。



ステッカー



事業所に掲示してもらったポスター



ポスター



お問い合わせ先 企画課 ☎22-3124

国民健康保険の加入・喪失の手続きについて

! マイナ保険証の有無に関わらず、これまで通り役場での手続きが必要です!

職場の健康保険を喪失し、
国保に加入する場合

必要なもの

- 健康保険資格喪失連絡票
- 来庁者の本人確認ができるもの
(マイナンバーカード・運転免許証など)
- 委任状(別世帯の方が届出をする場合)

職場の健康保険に加入した場合
→ 喪失の手続きが必要です。

必要なもの

- 国保を脱退される方全員分の「資格確認書(社会保険証)」または「資格情報のお知らせ(A4サイズ)」
- 国保を脱退される方全員分の「国民健康保険証」または「国民健康保険資格確認書」
- 来庁者の本人確認ができるもの(マイナンバーカード・運転免許証など)
- 委任状(別世帯の方が届出をする場合)



お問い合わせ先

町民課 ☎22-3117
大正町民生活課 ☎27-0112
十和町民生活課 ☎28-5112

急募 清掃のお仕事(窪川地域)

窪川地域の公共施設などで清掃をしていただける方を募集いたします。募集は、原則60歳以上の健康で働く意欲のある方でシルバー人材センターの会員になる方。お問い合わせは、四万十町シルバー人材センター事務局までお願いします。



広告

いつでもお気軽にお問い合わせください。

会員募集!

【お問い合わせ先】
(公社) 四万十町シルバー人材センター
四万十町香月が丘4番20号(ふるさと未来館内) ☎29-6021

集団予防接種によりB型肝炎ウイルスに持続感染された方へ 一人で悩まずに無料個別相談会をご利用ください

B型肝炎 給付金について

無料個別相談会

日程・会場
2/15(土) 土佐清水市立中央公民館 2階 研修室 土佐清水市天神町11番15号
2/16(日) 四万十市社会福祉センター 小会議室 四万十市右山五月町8番3号

対象者
昭和16年7月2日~昭和63年1月27日生まれ
※ご遺族の方も給付金請求できます

給付金 ※病態に応じて給付金等の内容が異なります
50万円~3,600万円

弁護士費用 着手金・相談料 無料 成功報酬制 ※訴訟実費別途

完全予約制 ☎0120-013-621
(ご予約受付時間) 平日 9:00~18:00
個別面談なので、他の方と顔を合わすことはありません。

無料電話相談も同時受付中! お気軽にお電話ください

弁護士法人 弁護士 塚本 隆一「あいほ こういち」東京弁護士会所属 登録番号35029 東京都新宿区四谷4-3 福屋ビル6-A ☎TEL 03-5363-6333 □E-mail:info@precious-law.jp
プレシャス総合法律会計事務所【営業時間】平日 9:00~18:00 □FAX 03-5363-6334 □https://precious-law.jp/

広告

令和7年度 四万十町奨学金制度のご案内

四万十町では、経済的な理由などで就学することが困難な方の勉学を支援するため、奨学金を貸し付ける制度を設けています。この奨学金については、高等学校、特別支援学校の高等部、大学、短期大学、高等専門学校または専修学校に在学し、下記の要件すべてに該当する方(奨学生)が対象となります。

- (1)奨学生またはその保護者のどちらかが、四万十町に住所を有する方
 - (2)経済的な理由により就学が困難な方
 - (3)向学心が旺盛な方
 - (4)資金の返還が確実と認められる方(連帯保証人が2人必要です)
 - (5)他の奨学金などを受給していない方
- (注)(ア)希望者が多い場合は、審査により貸し付けできないことがあります。
(イ)貸し付けの決定に必要な事項について関係機関で調査する場合があります。

貸付額(予定)は下記に定める額が上限となります。

区分	種類	金額(上限)
大学など 専修学校(専門課程)	入学支度金	50,000円
	就学資金	月額50,000円
高等学校など 高等専門学校 専修学校(高等課程)	入学支度金	50,000円
	就学資金	月額15,000円
	※通学費	月額25,000円
	※下宿費	月額25,000円

※通学費または下宿費はどちらか一方のみになります。

世帯の収入が基準額以下である世帯が対象になります。(詳しくはお問い合わせください)

区分	給与・年金収入の場合	給与・年金収入以外の場合
	収入基準額	所得基準額
2人世帯	3,020,000円	1,934,000円
3人世帯	3,740,000円	2,452,000円
4人世帯	4,390,000円	2,970,400円
5人世帯	5,040,000円	3,492,000円

申込期限は、令和7年2月末日までです。

貸し付けを希望される方は、申請書に必要書類を添えて、右記のいずれかの受付窓口へ提出してください。
(申請書は右記の窓口でお渡します)

●申請書の提出先
学校教育課・大正町民生活課・十和町民生活課

【お問い合わせ先】学校教育課 ☎22-2594



クールチョイス

脱炭素社会の実現のため、一人一人のライフスタイルの転換が重要です。

歩く・自転車に乗るなど健康的な体づくりにつながる移動も取り入れてCO₂削減に取り組みましょう!

【お問い合わせ先】環境水道課 ☎22-3119

四万十町教育委員会 会計年度任用職員の募集について

募集

四万十町教育委員会では、令和7年度の会計年度任用職員を下記のとおり募集します。
会計年度任用職員については、主に行政事務などの補助を予定しており、申し込みをいただいた方を候補者として名簿に登録した後に、面接などを実施し採用(任用)させていただく予定です。

令和7年度の会計年度任用職員の候補者として登録をご希望の方は、以下を確認いただき、申し込みをお願いします。

なお、登録については、採用をお約束するものではありませんので、あらかじめご了承ください。

●申込方法 教育委員会、各地域振興局町民生活課に備え付けの申込書・履歴書に必要事項を記入し、提出してください。運転免許取得者は運転免許証の写しを、資格などを必要とする職種については、その資格を確認できる書類を添付してください。

※履歴書の職歴については、本町での職歴(旧町村の職歴を含む)を、詳細に記載してください。

【提出先】教育委員会、大正町民生活課、十和町民生活課

●受付期間 1月10日(金)~31日(金)【土・日・祝日などの閉庁日を除く。】(2月1日以降も随時申込可能です。)

●受付時間 8:30~17:15(12:00~13:00の時間を除く。)

●面接日時 2月中旬を予定(該当者へは別途通知します。)

●登録名簿有効期間

申込をいただいた日から令和8年3月31日までです。

●任用期間 令和7年4月1日から令和8年3月31日までのうち、任用が必要な期間(最長1年間)

●採用・登録条件など

申し込みの前に、QRコードより「四万十町ホームページ」で、希望される職種の業務内容・資格要件などをご確認ください。

※ホームページをご覧になれない方、または、不明な点がある方は、下記までお問い合わせください。



●募集および登録する職種

所管課	職種	勤務時間・勤務日数	募集人数
学校教育課	一般事務補助(学校教育課)	7時間・月21日	1名
	一般事務補助(窪川学校給食センター)		1名
	特別支援教育支援員		若干名
	学校図書館支援員		1名
	ICTサポーター	7時間・月16日	1名
	スクールソーシャルワーカー		1名
	教員業務支援員	6時間・月21日	1名
	部活動指導員	業務内容による	若干名
臨時登録運転手	若干名		
生涯学習課	保育士(パート含む)	7時間45分・月21日 または 7時間・月21日	若干名
	保育教諭(パート含む)		
	保育(保育士または保育教諭)補助(パート含む)		
	子育て支援員(パート含む)		
	調理員 (①保育所・認定こども園 ②子育て支援センター)(パート含む)	業務内容による	若干名
	草刈等作業員(障がい者枠のみ)		

※年度当初に採用とならなかった場合でも、年度途中(登録期間中)に採用となることがあります。

お問い合わせ先

学校教育課 ☎22-2594

生涯学習課 ☎22-3576

令和6年度 四万十町防災講演会

イベント

地域防災力の向上を図り、南海トラフ地震などの災害に備えるため、防災講演会を開催します。
 今年は、「マツコの知らない世界」などのテレビ番組でおなじみの合同会社ソナエルワークス代表、高荷智也氏を講師にお招きし、家庭でできる防災対策についてご講演いただきます。どなたでも参加可能ですので、皆さまぜひご来場ください。

- 日時 1月19日(日) 9:30~11:30
- 場所 窪川四万十会館
- 参加費 無料

お問い合わせ先 危機管理課 ☎22-3280

町所有公用車を売却します

お知らせ

町所有の公用車について、入札による売却を実施します。
 詳しくは町のホームページで入札要領をご確認ください。
 なお、入札要領は総務課でも配布しています。



- 申込資格 町内に住所を有する個人または法人
- 対象車両 自動車登録番号:[高知22ゆ158]
 車名:三菱
 型式:KC-MK629F 35人乗りバス
 初度登録年月:平成9年3月
 走行距離:512,430km(令和6年11月20日現在)
 車検有効期限:令和7年3月25日

- 入札および車両公開期間
 1月15日(水)~1月31日(金)まで
 ※土・日・祝日を除く8:30~17:00まで (最終日は15:00まで)
 ※見学の際は、事前に総務課までご連絡ください。



お問い合わせ先 総務課 ☎22-3111

たにもと おうり **大正**

谷本 風吏さん

令和5年12月3日生まれ

すくすくとたくましく育てね★

(涼太・美紀より)

四万十町通信 すくすくコーナー募集 🔍 で検索

[お問い合わせ先] 企画課 ☎22-3124

「農林業センサス」にご協力を!

お知らせ

全国一斉に「2025年農林業センサス」が実施されます。
 この調査は農林業・農山村地域の実態を明らかにする統計調査で、1月中旬頃から農林業を営む皆さまのお宅や会社などを調査員が訪問します。
 訪問時には、簡単な聞き取りや調査へのお願いをさせていただきますので、皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。
 ※調査員を装った不審な電話や訪問を受けたときは、企画課までご連絡ください。



調査期間(目安):1月中旬~2月中旬まで

お問い合わせ先 企画課 ☎22-3124

~ヒミツのともだち~

40010

シマント

四万十町の公式アプリ「40010~ヒミツのともだち~」は、四万十町を舞台としたRPGゲームです。
 現在、ゲームの魅力を、四万十町公式ユーチューブで配信中!
 今すぐアプリをダウンロードして、四万十町を遊び尽くせ!

四万十町公式 YouTube

iphone用

android用

お問い合わせ先 企画課 四万十川振興室 ☎22-3124

四万十町出会い応援センターてとと

【相談受付】毎週金曜日 10:00~18:00
 ■要予約/45分 ※夜間・土日希望の場合はご相談ください。
 四万十町榊山町3-7 四万十町農村環境改善センター内
 ☎090-5405-1010 (平日/10:00~18:00)
 ✉tetoteto@shimanto.tv
 [担当] 特定非営利活動法人 LIFE: 井上義之

てとと

てとと LINE@ 友だち募集中!!

てとと ホームページ LIFE

出会いをサポート!

[登録について] ▶ 対象者/18歳以上独身 ▶ 必要書類/身分証明書等・独身証明書等(戸籍抄本)・写真1~4枚(証明写真不可)



谷口 廣子さん
(窪川高校給食支援員)



母校のためになるならと

昼休みを告げるチャイムが鳴ると、生徒たちがわいわいとランチルームに入ってきた。この日の献立は肉じゃがとブロッコリーのサラダ。テーブルに並んだ皿を順番にお盆に取り、谷口廣子さんにご飯をよそってもらう。

よく見ると、一人一人ご飯の量が違う。「この子は大盛り、この子は少なめ、というのは大体分かっていますので。なるだけ、残さんように食べてもらいたいと思ってます」と谷口さん。配膳が一通り終わると、生徒の横で給食を食べる。若い人と一緒にご飯を食べたら元気をもらう、とほほ笑む。

窪川高校では、閉鎖していた食堂を生徒たちが4年前に改修し、OBが運営するカフェスペース「三年坂」がオープン。2021年度からは希望者を対象に給食の提供が始まり、ランチルームとしても活用している。全校生徒と職員の9割ほどが給食を利用しており、学校給食センターから1日約90食が届けられる。

谷口さんは窪川高校を卒業後、図書室の司書としてその

まま母校で働いた。「恩師がいっぱいおるところで働くのは少し嫌でしたけど、助けられたこともいっぱいありました」と笑う。当時の図書室はクラスとはまた違う、生徒たちの居場所にもなっていたという。「生徒の話はよく聞いちゃならないかん」。そんな思いで接していたと振り返る。

高校に42年勤めて定年退職。給食のスタートに合わせて声をかけられ、「学校のためになるなら」ともう一度母校で働き始めた。昼休みに間に合うように配膳を始め、サラダや和え物などは人数分をテーブルに並べておく。ご飯や主菜など「冷めたらいかんもの」は生徒たちが来てから手渡すようにしている。

在校生の中には、司書時代に接した生徒の子どもや孫もいる。「自分の目標を早く持って、それに向けた勉強をして、希望する進路に行けるように頑張ってもらいたい」。今日も温かい給食を準備して、生徒たちを出迎える。

ちよい 町にはこんは waza も
waza!! 「体育はじめ」にきょうだいで毎年参加!

1月2日の「体育はじめ」のジョギングに10年ほど前から欠かさず参加。最初は「親に連れていかれて」参加したが、いつの間にか年始の習慣に。恵吾さんは「出られる限りは走りたい」、歩澄さんは「走ると気持ちが切り替わる」と話す。

こだわりの「技」できらりと光る四万十町の人々を紹介します。
ちよいwaza!!は随時募集中!



四万十高校の魅力



四万十高校公式Instagram
@shimantokoukou
ぜひフォローしてください!!

地域とつながる教育活動② ひなまつり人形の飾り付け

【協力者：大正浪漫実行委員会・四万十町商工会大正支所・大正地域振興局】

地域の方に協力していただいている教育活動を紹介し、今後ともお力添えをよろしくお願いいたします。

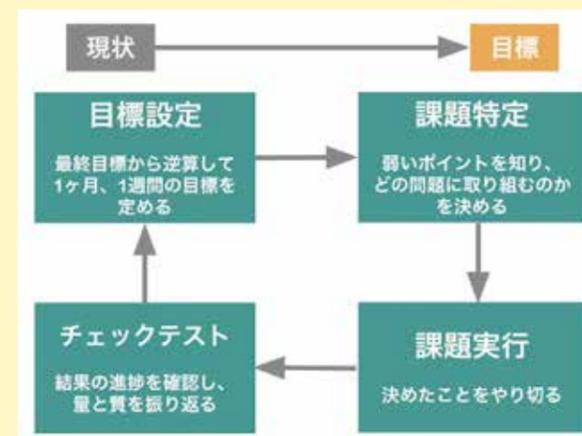
全国各地から寄付していただいたひな人形が大正商店街に大集合する「大正浪漫ひなまつり」のイベント開催に向けて、ひな人形の飾り付けボランティアに参加をしました。例年は桃の節句に合わせて3月に実施をしていますが、今年は重陽の節句（旧暦の9月9日）に合わせて準備をしました。説明を受けた後、丁寧に扱いながら飾り付けを行いました。

生徒の感想（一部抜粋）

- ・たくさんのひな人形があってすごいと思ったし、どこからこの人形が集まってきたのか気になった。
- ・ひな人形がとてもきれいだったし、飾り付けはとても楽しかった。
- ・飾り付けは少し難しかったが、飾り終わった後の達成感があった。またやってみよう。



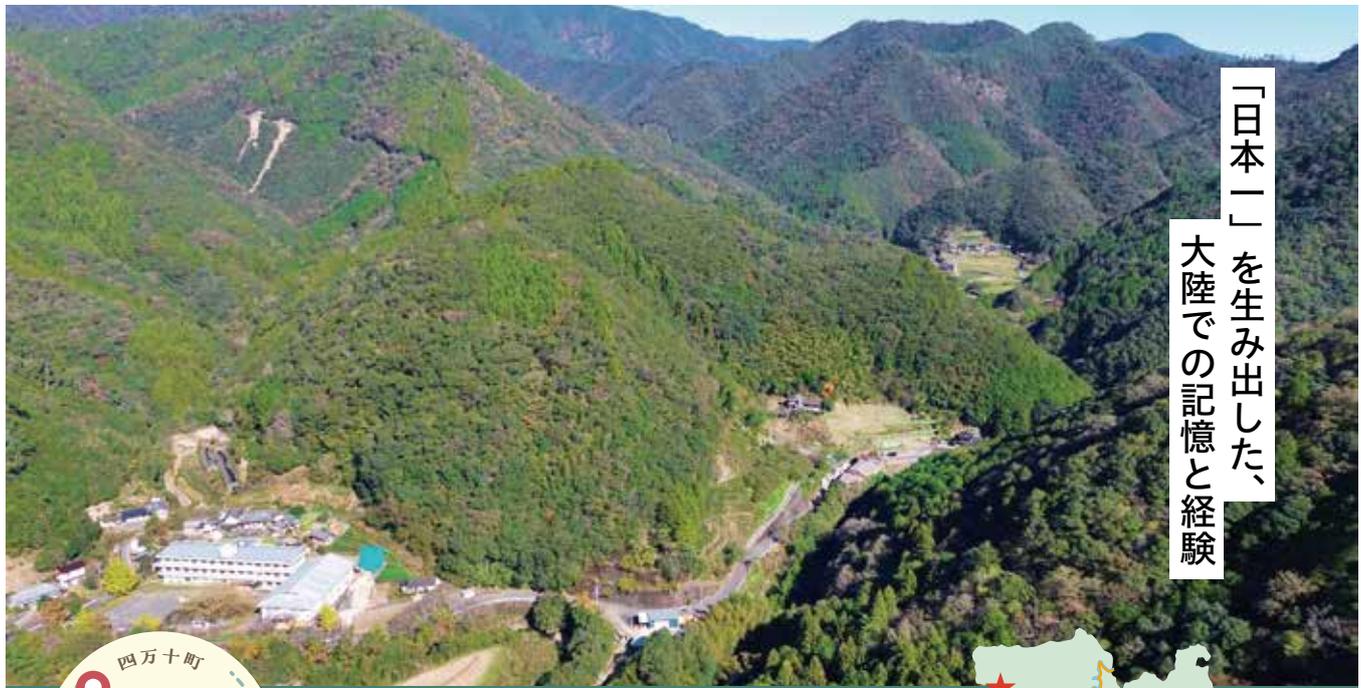
地域で挑戦する、高校生たち



1月も中旬に差し掛かり、受験は山場の時期。「じゆうく。」に通う生徒も、自分の進路実現に向かって日々勉強に励んでいます。目標に向かう過程で、何をするかを決めるのはスタッフではなく生徒自身。スタッフは、正しく課題を決められているかをチェックしたり、アドバイスをしたりしています。スタッフ一同、最後まで丁寧にサポートしていきます!

【お問い合わせ先】 町営塾「じゆうく。」 ☎050-5482-3339
人材育成推進センター ☎22-3163

「日本一」を生み出した、
大陸での記憶と経験



こしろ/こじょう 古城



盛り上がった地区対抗の相撲大会

十川の街から長沢川沿いに北上。戸川橋バス停を通過して200mほどで古城地区に入る。古城も戸川や白井川などと同じで縦に長く、その北端は伊予・日吉と接しているため、古くから伊予との交流が深かった。県境にある地蔵を古城、隣の地吉、日吉村犬飼地区の3地区で祀ってきた歴史がある。祭りの日の相撲大会は地区対抗となり、大いに盛り上がったという。下組・長沢・本村・山瀬・追和の五つの組^{からす}で構成される古城は、十和村発足(昭和32年)までは「烏」といった。産土神は八幡大神宮である。

古城椎茸研究会

中世は茶と楮が主たる産物で、明治以降は炭焼きが中心であった。細々とはあるが養蚕も行われていたが、昭和4年に始まった世界恐慌によって生糸価格が暴落。国内の養蚕は壊滅的になる。代替産業が乏しく田畑の少ない古城は、満州開拓団政策の対象になってしまうのだが、これが後の十和村の基幹産業創出の原動力になる。

終戦とともに満州開拓団から帰国した人や、復員してきた人たちなど18名が、昭和30年頃に「古城椎茸研究会」を立ち上げ、椎茸栽培および乾燥椎茸の生産に挑戦し始めた。彼らは当時の先進地に何度も足を運び、栽培技術・乾燥方法の研究を重ねた。そして試行錯誤の末、独自の技術にたどり着く。「オンドル式(古城式)乾燥法」である。これは中国大陸での記憶や経験から生まれた技術であった。十川村(のち十和村)・古

城地区で始まった椎茸プロジェクトは全村に拡大し、昭和51年・53年に生産高日本一となる。

最後まで粘った養蚕

同じく全村的プロジェクトだったのが、昭和53年に1億円産業に発展した養蚕である。昭和30年代後半から本格化した養蚕事業は、ここ古城でも取り組む人は多かった。その昔に経験のある養蚕。地区にはクワ畑が増え「どの家にもお蚕様の部屋があった。人間のメシよりお蚕様のメシが先じゃったし、お蚕様に寝る場所も追われた」。子どもたちもクワ摘みを手伝った。指輪に刃がついたような「クワ摘み」と呼ばれる道具で摘むのだが、子どもはうまく使えず親指をよく切ってしまったそうだ。「夏はクワ摘み。冬は椎茸のほだ木運びと、子どもの手伝いも重労働じゃった」。

国内の養蚕が下火になると同時に十和村でも消滅していったが、最後まで粘ったのは、大井川とここ古城だったという。



地区の方が保存されていた「クワ摘み」

町のうごき

(11月30日)	人	口	前月比	出生	死亡	転入	転出
男	7,217		-14	男 1	15	8	8
女	7,761		-6	女 2	10	10	8
計	14,978		-20	計 3	25	18	16
世帯数	7,960		-11	(11月中の届出)			

窪川地域 10,680人 大正地域 2,047人 十和地域 2,251人